

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	FC延岡AGATA	A	● 1 - 4	九州リーグ開幕おめでとうございます。 2年ぶりの九州リーグを戦うにあたり、緊張と期待で試合に挑みましたが1節、2節とも大変悔しい結果となってしまいました。 気持ち切り替え次節に向けて、チーム一丸となっていい準備をしていきたいと思ひます。
2	ヴェロスクロノス都農	H	● 0 - 1 4	最後になりますが、参加チームの皆様、リーグ関係者の皆様、沖縄県サッカー協会社会人委員会の皆様、そして2日間ボールパーソンを行って頂きましたKBC学園サッカー部、前原高校、鹿島朝日学園の皆様、ご協力大変ありがとうございました。
3	Brew KASHIMA	A	● 0 - 4	第3節はアウェーでBrew KASHIMAさんとの試合でした。 試合の入りは悪くありませんでしたが、セットプレーから失点してしまい退場者も出たことで苦しい展開になりました。 厳しい状況ですが、日々のトレーニングをしっかりと積んで次節に望みたいと思ひます。 最後に運営を行って頂きましたBrew KASHIMAの皆様、運営ご担当者様、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。
4	NIFS KANOYA FC	H	● 1 - 2	第4節はホームでNIFS KANOYA FCさんとの試合でした。 前期ホームでできる最後の試合でしたので、絶対勝ち点3が必要な試合でしたが、終了間際に失点してしまい大変悔しい敗戦になりました。 連敗していますがリーグ戦は続くので、次節に向けていい準備をしていきたいと思ひます。 最後に対戦して頂きましたNIFS KANOYA FCの皆様、ボールパーソンを行って頂きました那覇西高校サッカー部の皆様、ありがとうございました。
5	ジェイリースFC	A	● 0 - 6	第5節はジェイリースFCさんとの試合でした。 上位相手に我慢しながら、失点0を目指しましたが開始2分でコーナーキックから失点してしまい相手に余裕を持たせてしまいました。 苦しい状況ですがしっかりとトレーニングし、次節に向けて頑張りたいと思ひます。 最後に運営を行って頂きましたジェイリースFCの皆様、運営ご担当者様、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。
6	板付FC	A	△ 1 - 1	第6節は板付FCさんとの試合でした。 立ち上がりは押し込まれる展開になりましたが、徐々に落ち着き幸先よく先制点をとることができました。 なかなか追加点が奪えない中、後半飲水タイム直後に失点。それ以降はどちらに転んでもおかしくない試合になりました。 勝ち点3が欲しかった試合ですが、勝ち点1を前向きにとらえて、次節に向けて良い準備をしたいと思ひます。 最後に運営をして頂きました板付FCの皆様、運営ご担当者、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。
7	日本製鉄大分	A	● 2 - 5	第7節はアウェーで日本製鉄大分サッカー部さんとの試合でした。 開始早々2分と6分で失点、その後も2点を奪われ前半だけで4失点。 試合の入りが悪く戦う姿勢・気持ちが見えず悪いリズムの前半でしたが、後半は選手が気持ちを切り替えしっかりと闘ってくれました。 敗戦となりましたが後半の試合内容をプラスにとらえて、来週の集中開催に向けてしっかりと準備したいと思ひます。 最後に運営を行って頂きました日本製鉄大分サッカー部の皆様、運営ご担当者、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。
8	川副クラブ	H	● 3 - 4	第8節は川副クラブさんとの対戦でした。 開始5分でまたも失点。ここ数試合、早い時間帯での失点が多くなりリズムを崩している。 その後は良い形で試合を進めることができましたが、ロスタイムに失点し大変悔しい敗戦となりました。
9	KMGホールディングス	A	● 0 - 1	第9節はKMGさんとの対戦でした。早い時間帯で失点をしない、ロスコアに持ち込む事を意識して試合に臨みました。 前半20分で先制はされましたが、それ以降は追加点を与えず最後まで集中して守備ができたことは後期に繋がると思ひます。 前期を終えて最下位ですが、後期はしっかりと修正し勝ち点を積み上げ残留できる様にチーム一丸となって闘りたいと思ひます。 最後に2日間運営を行って頂きましたNIFS KANOYAの皆様、鹿児島県サッカー協会、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
10	FC延岡AGATA	H	● 0 - 3	第10節はFC延岡AGATAさんとの試合でした。 前半は何とか1失点で折り返しましたが、後半開始早々に2失点してしまい敗戦となりました。その後の守備が大きく崩れなかったことは前向きに捉えたいと思います。 第11節はヴェロスクロノス都農さんとの試合でした。 前期大量失点している相手に我慢強く守備をして、ロースコアに持ち込めるよう試合に挑みました。しかし首位を走る都農さん、全ての面において相手が上回っていました。 この2試合を通して不用意なボールロストからの失点が目立ちました。 次節に向けて修正し、来週のホーム戦はチーム一丸となってリーグ初勝利をあげられるよう挑みたいと思います。
11	ヴェロスクロノス都農	A	● 0 - 6	最後に2日間天候が悪い中、運営をして頂きましたジェイリースFCの皆様、日本製鉄大分サッカー部の皆様、九州総合スポーツカレッジの皆様、大分県サッカー協会の皆様、ボールパーソンなど関係者の皆様ありがとうございました。
12	Brew KASHIMA	H	● 1 - 2	第12節はホームでBrew KASHIMAさんとの試合でした。 試合の入りは良く、先制点を取ることができましたが、その後追加点を奪えず、風下になった後半は押し込まれる展開になってしまいました。 クーリングブレイク後の84分、88分に連続失点をしてしまい大変悔しい敗戦になりました。 次節アウェーではありますが、とても重要な試合になるので気持ちを切り替え、勝ち切れるように良い準備をして臨みたいと思います。 対戦して頂きましたBrew KASHIMAの皆様、ボールパーソンを行って頂きました昭和薬科大学附属中学校の皆様、ありがとうございました。
13	NIFS KANOYA FC	A	△ 0 - 0	第13節はNIFS KANOYAさんとの試合でした。 今シーズンこれまで厳しい闘いが続く中、どうしても勝ち点3が必要でしたが、決定機を作ることが出来ず引き分けに終わりました。 ただ失点0で抑えたことを前向きにとらえ、来週からのホーム3連戦では勝ち点を積み上げられるよう、選手・スタッフ、チーム一丸となって良い準備をしたいと思います。 最後に運営を行って頂きました、NIFS KANOYAの皆様、審判団の皆様、運営ご担当者様、ボールパーソンなど関係者の皆様、ありがとうございました。
14	ジェイリースFC	H	● 0 - 5	第14節はホームでジェイリースFCさんとの試合でした。 前期セットプレーから早々に失点していたので、試合の入りとセットプレーには注意していましたが、CKから2失点してしまい、その後も中々チャンスを作れないまま追加点を奪われ0-5で敗戦となりました。 次節は残留するためには絶対勝ち点3が必要な試合になります。良い準備をしてチーム一丸となり全力で挑みたいと思います。 最後に対戦して頂きましたジェイリースFCの皆様、ボールパーソンを行って頂きましたKBC学園サッカー部、南風原中学校の皆様、沖縄県サッカー協会関係者の皆様、ありがとうございました。
15	板付FC	H	△ 0 - 0	第15節はホームで板付FCさんとの試合でした。 九州リーグに残留する為に何とかして勝利が必要でしたが、0-0の引き分けに終わり、悔しい結果となりました。 しかしながら猛暑の中、選手は最後まで頑張って走り切ってくれました。 次節はホーム最終戦になります。必ず初勝利をあげ残留できるように良い準備をしたいと思います。 対戦して頂きました板付FCの皆様、ボールパーソンを行って頂きました昭和薬科大学附属中学校の皆様、沖縄県サッカー協会関係者の皆様、ありがとうございました。
16	日本製鉄大分	H	● 1 - 2	第16節はホームで日本製鉄大分さんとの試合でした。 ホーム最終戦、なんとしても勝ち点3が必要でしたが1対2で敗戦となりました。 残り2試合となりましたが、残留の可能性のある限り、良い準備をし、初勝利をあげ、九州リーグに残留できるよう、全力でトレーニングに取り組んでいきたいです。 対戦して頂きました日本製鉄大分の皆様、ボールパーソンを行って頂きました昭和薬科附属中学校の皆様、沖縄県サッカー協会関係者の皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
17	川副クラブ	A	○3 - 2	<p>第17節 川副クラブさんとの試合。残留に望みを繋げる為には絶対勝利が必要でしたが、選手が最後まで頑張り初勝利をあげることができました。</p> <p>第18節 KMGさんとの試合。同時刻で試合が行われるNIFSさんの試合が気になるころでしたが、自分達が勝利する事だけに集中するよう選手を送り出しました。ミスから失点してしまい連続失点で敗戦、今季を象徴するような試合でした。</p>
18	KMGホールディングス	H	●2 - 6	<p>降格になりましたが、また九州リーグに戻り皆さんと対戦できるようにトレーニングに励みたいと思います！</p> <p>対戦して頂きました川副クラブの皆様、KMGの皆様、審判団の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、運営に携わって頂きました皆様、ありがとうございました。</p> <p>九州リーグ事務局の皆様、九州リーグ各クラブの皆様、審判団の皆様、各県協会社会人委員会の皆様、今シーズン大変お世話になりました。</p>